

事業所名	ハッピーキッズ FC横浜		支援プログラム	作成日	2025 年	4 月	1 日
法人（事業所）理念	ひとりひとりが笑顔になれる楽しい場所を作ります。						
支援方針	子どもが主体性に課題の取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いを寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育む為に、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 多彩なプログラムにより、基本的な生活習慣を身につけ、優しさや思いやり社会性を育みます。						
営業時間	10 時	00 分	から	19 時	00 分	まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善／生活リズムや生活習慣の形成／基本的な生活スキルの獲得。 * 来所時に口頭・目視などで健康状態を確認する * 排泄・着替えの動作のついて、課題分析などの客感的・具体的な分析を基に課題を明確にして支援する。					
	運動・感覚	姿勢・運動・動作の向上／感覚の特性への対応。 * 興味の際には、能動的なアプローチを引き出し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、上肢・下肢の運動、動作の改善及習得を行う。 * サーキットなどの運動療育により、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。* 感覚の偏りに対する環境整備。					
	認知・行動	認知機能の発達と行動の習得／空間・時間、数等の概念形成の習得／言語の受容及び表出・対象や外部環境の適切な認知と行動の習得／行動障害への予防及び対応 * 活動の際には、行動を修正するのではなく、見本の提示や手順書で説明を行うなど、適切な振舞い、行動を最初に教えていくようにする。 * 子どもに合わせた教材（イラストや文字のマッチングなど）を通して、物の理解を促す。					
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用／言語の受容及び表出／コミュニケーションの基礎的能力の向上／コミュニケーション手段の選択と活用。 * 子どものモチベーションが高い活動場で、動作などを活用して、自発的なコミュニケーションの定着化を支援する。 * タイミング・音量・シンプルな言葉など、子どもが受け取りやすい言葉がけを行い、受容性のコミュニケーションを支援する。					
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成／他者との信頼関係の構築／自己の行動調整能力／仲間づくり集団活動への参加／遊びを通じた社会性の発達。 * スケジュールを実物・絵・写真など、子どもの理解レベルの合わせて視覚的に示し、見通しを持ちながら自発的に行動できるように支援する。 * グループ活動において、手順書・順番カードなどで手順やルームを示し、集団活動へ適切に参加できるように支援する。					
家族支援	家族が子どもについて理解を深めるために療育参観や勉強会を開催予定。行動観察を通して具体的な関わり方を知り、実際に取り組むことを狙いに療育活動に参加する機会を作る。懇談会や父母会で活動で家族同士の気持ちの共有を支援。	移行支援	* 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立ために出来ること増やす支援を行う。* 日常的な連携に加え、利用者に対しての進級や進学に向けて出来る支援をについて共有を図る。* 移行支援会議やカンファレンスには積極的参加する。				
地域支援・地域連携	各種関係機関での役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常生活習慣生活や支援に活用する為の具体策を提案。関係機関がそれぞれ得られた情報を共有すると共に役割分担を行い、当事業所のできる支援について明確に支し、利用者や家族にとってQRL向上のための支援や将来に向けて対策についての提案する。（QRLとは生活の質）		職員の質の向上	* 経験年数別の階層別研修・新人研修・組織人研修 * 法定研修（虐待防止・身体拘束等適正化感染症BCP/自然BCP・感染対策・防災訓練・他の）* ケース検討会議* 外部講師を招いての全体研修 * 多職種でのミーティングやカンファレンスを実施し、所内全体の職員の資質向上・支援力の平準化を図る。			
主な行事等	季節に合わせた行事「歳時記」提供する（誕生日会・こどもの日・母の日・父の日・七夕祭り・ハロウィン・クリスマス会・等々） 避難訓練・父母の会（参観・懇談会）学校休校には、様々な体験・経験ができるように外出イベント企画活動を開催する。						